

Press Release

2022.3.11

「いつかは世の中の傘」

神農理恵、日原聖子、水上愛美、若林菜穂

-

2022年4月2日(土) - 5月1日(日) 11:00-19:00 月火祝 休廊

* 新型コロナウイルス感染予防の観点より、来場者の密集を避けるため入場制限を行う場合がございます。

-

タリオンギャラリーでは、神農理恵、日原聖子、水上愛美、若林菜穂による展覧会「いつかは世の中の傘」を開催いたします。是非ともご覧下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

鉄やコンクリートブロックなどの素材と樹脂や着彩を組み合わせ制作を行う神農理恵は、即興的に素材を裁断、結合、変形することで立体を形づくり。物質固有のテクスチャーによる無数の重ね合わせの上に、軽やかな色感や形状を取り込み、堅くやわらかで、繊細かつ荒々しいといった両義的なイメージを浮かび上がらせ。プラハ美術アカデミーを修了し現在チェコを拠点に制作を行う日原聖子は、周囲の人々との対話や関係性を制作の起点に、他者の存在を織り交ぜ留める手段として糸や布、ドローイングを使った作品を制作しています。人の営みの中の儀礼や共感性に着目し、文化人類学的な見地やアクションアートの文脈から考察を加えるなど、横断的なアプローチによって発表を続けています。遠く離れた砂漠の砂を混ぜたペーストを塗り重ねるなど、水上愛美は自身の絵を何層も塗りつぶして上書きを加えることで、絵画の中に複層的な時間と物語を封じ込めようとしています。伝承や歴史上の逸話などを下敷きにしながらか換骨奪胎された物語は、数千年後の未来に向けた贈り物として描かれています。若林菜穂は撮りためた写真やカラーペーパーを用いてコラージュをつくり、身体を経由して絵画へと置き換えることで制作を行っています。印刷物のざらつきやディスプレイ上の明度、そして作家の記憶の断片を混ぜ合わせつつ描かれる作品は、現実とは切り離された所在無さとともに、それを見る者の記憶の在りかに直接触れるかのような共時的なモチーフに満ちています。

本展タイトル「いつかは世の中の傘」は、流行歌の歌詞(川内康範作詞)の一節に由来しています。本展では、世の中の傘とは何かという問いをめぐって、私的な行為や関係性のつながりが、社会やその時代をおおう皮膜となる連環の開き、あるいは裂け目を主題として構成されます。どうぞご期待ください。



日原聖子 | 友人の子どもと描いた絵 | 2022 | 29.7x42cm

ハムスター"モモ"はいつも脱走していた。モモを迎えるにあたり、ダンボールでテーマパークを作った。しかし作ったすべり台、ブランコなどで全く遊んでくれず、ダンボールを登ったり齧ったりして脱走するので、テーマパークは諦めてプラスチックケースで飼うことになった。しかしプラスチックケースでも脱走していた。ケースは高さ40cmあり、ハムスターにとっては随分高いがどうにかして飛び越えていたらしい。しかも1週間ほど経ったら帰って来る。初めは心配していたが、いつも帰って来るので放っておいたらモモは廊下で息途絶えていた。数年後、冷蔵庫の下からひまわりの種と小さな歯形の跡が付いたキャベツが出てきた。食べかけのキャベツはリアルなモモの生活を想像させた。モモはペットと野生の境界線を常に飛び交うハムスター。私と同じ屋根の下、同じ時間軸、違う世界で生きていた。

神農理恵

世界に傘はなかった。そのことを痛感させられる。それでも友人たちが、いろいろな人が懸命に動く姿を見て、動く話を聞いている。見えない線が引かれた上を通り越えて、遠くから歩いてきた人がさらに歩いていく。誰もあなたを隠してはくれない。それでも隣人があなたを車に乗せ、眠れるところまで一緒に進んで行く。穴の空いた傘を想像する。頭上を飛び交う何かを確認することのできる穴の空いた傘の存在。街を飛んでいく穴の空いた傘。

日原聖子

3/6: この展示が決まった後に、世界の情勢は大きく変わった。「この世の傘」とはなんなのか考えてみてはいるものの未だ答えは出ない。少し前に自動車の自動操縦のシミュレーションをしたことがある。事故が避けられない際に「親子と会社員」「老人と若者」「猫と人間」など2つの選択肢が提示されどどちらかを選んでいくという内容だ。簡単なシミュレーションではあったが、暗澹たる気持ちになったのを覚えている。

2/28~3/11: 現在使用しているスタジオは窓を全て塞ぎ白い壁が建ててある。唯一見える外の景色はドアについた曇りガラスから見えるぼんやりとした光だけだ。その中で時間について考えている。曇りガラスのむこうでは太陽が沈もうとしているがそれは良くも悪くも私の時間ではない。フィリップ・K・ディックの小説「アンドロイドは電気羊の夢を見るか?」では共感という機能が人間とアンドロイドを見分けるポイントになっている。他人の過ごす時間を想像することを試みることは重要だ。たとえ曇りガラス越しでも。

水上愛美

今回の展示に際し、頭の中であらためて傘を手を取った。傘は雨や日差しを遮るために作られている。肩や足は覆いきれないが、それでも頭や胴を守ることができるのはとても助かる。ときに傘はひっくり返ったり、はたまた風にさらわれてどこかへ飛んでいってしまうことさえある。使う側は、あらら、と思ったりもするのだが、それも却って可笑しい。傘という言葉が比喩的に使われるとき、傘が手を離れて宙に浮かぶ姿を想像する。ひとつの物体として浮かぶその姿は、ちょっと異様でシリアスだ。思う姿のいずれも包めて、傘という。包まれるものは豪快にはみ出ているように思うし、端から完全に覆う気もなさそうだ。遮るものがないところへ傘を差せば、何となく内と外に分けられるというだけのこと。出かけに手に取る傘も、また相変わらず、その通りに傘である。

若林菜穂



神農理恵 15人(逃げる人、バレエの人、フィギュアスケートの人、ヨガの人、忍者の人) | 2017
ラッカーズプレー、木材、鉄 | 180x180x90cm | 撮影: 山田亘

神農理恵 Rie Shinno

- 1994 三重県生まれ
- 2015 名古屋学芸大学 メディア造形学部 ファッション造形学科 中途退学
- 2018 名古屋造形大学 造形学部 美術専攻
コンテンポラリーアートコース 卒業
- 2020 武蔵野美術大学院 造形研究科 修士課程 美術専攻 彫刻コース 修了

主な個展

- 2020 「untitled」gallery DEN5(東京)
- 2019 「a fresh pleasant, feeling」
東京造形大学 オルタナティブスペース mime (東京)

主なグループ展

- 2022 「Heptapod Solresol Ruins」VOU/ 棒ギャラリー (京都)
- 2021 「RISING STARS 展」銀座蔦屋書店 (東京)
「The Practice of Alchemy」
TOKYO INTERNATIONAL GALLERY (東京)
「ストレンジャーによろしく」金沢市各所 (石川)
「ART@DAIMARU(BEAMSxmui Lab)」大丸京都店 (京都)
- 2020 「CAF 賞 2020」代官山ヒルサイドテラス (東京)
「ShiftOperation Tokyo workflow」
CAVE AYUMI GALLERY (東京)
「令和元年度 第 43 回 東京五美術大学連合卒業・修了制作」
国立新美術館 (東京)
「令和元年度 武蔵野美術大学卒業・修了制作展」
武蔵野美術大学 美術館 (東京)
- 2019 「ゆくりか」See Saw gallery+hibit/ 愛知)
「カンガルーが走れば」府中市美術館 市民ギャラリー (東京)
「群馬青年ビエンナーレ 2019」群馬県立近代美術館 (群馬)
- 2018 「名古屋造形大学卒展」名古屋造形大学 (愛知)
- 2017 「みのかも annual 2017 On location」美濃加茂 文化の森 (岐阜)

受賞歴

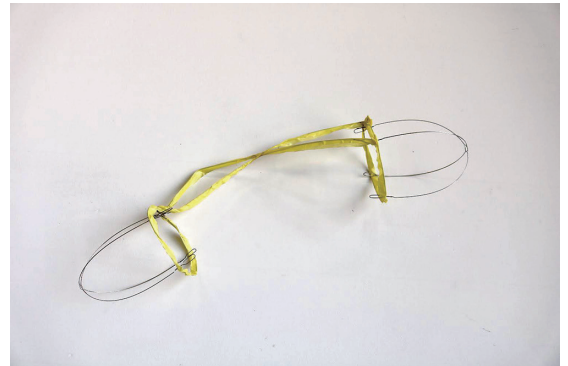
- 2020 「CAF 賞 2020」名和晃平 審査員賞
- 2019 「群馬青年ビエンナーレ 2019」入賞
- 2018 「名古屋造形大学 卒展」桃美会賞



「ストレンジャーによろしく」金沢市での展示風景 | 2021
撮影：高木遊



block on wax#1~32 | 2020 | コンクリートブロック、
パラフィンワックス、クレヨン、樹脂 | サイズ可変
撮影：西田香織



ツンとすれば | 2019 | マスキングテープ、金属線 | 53x10x13cm



飛行物体 | 2017 | 木材、ラッカースプレー | 58x45x30cm

日原聖子 Seiko Hihara

- 2018 プラハ美術アカデミー 修了
- 2019 - 東京藝術大学大学院美術研究科博士後期過程 在籍
- 2022 - 令和3年度 ポーラ美術振興財団在外研修員として
チェコ共和国にて研修中

主な個展

- 2021 「Circle in red」駒込倉庫 (東京 / 助成: 公益財団法人小笠原敏晶
記念財団)
- 2020 「かりてきた糸 / Borrowed.」 TS4312 (東京)
- 2018 「In Between」 IDEÁL prostor gallery (プラハ)
- 2017 「Paintings + drawings + embroideries + a small performance」
Bakterie gallery(チェコ、イフラバ)
- 2016 「Setkání/Meetings」 Hidden gallery、ミール広場 (プラハ)
「Paintings and graphics,」 cafe Mlynská(プラハ)

主なグループ展

- 2021 ワークショップ / シンポジウム「Descendants of Fungi:
NEUROPLASTICITY」 Institute of Anxiety (チェコ)
- 2020 「1GB」スパイラルホール (東京)
- 2018 「Future Ready」 Kampus Hybernaska (プラハ)
- 2017 「第4回 CAF 賞展」代官山ヒルサイドテラス (東京)
「Halfway where」 grey gallery (デン・ハーグ)
「Š.A.L.O.U.N」シャロウン邸 (プラハ)
- 2016 「Black box」 GAVU (プラハ)
「The Studio of Restoration Attempts」シャロウン邸 (プラハ)
- 2014 「bitva」 Gallery Uffo (トゥルトゥノフ、チェコ)
- 2013 「vid!」(クロムジェジーシュ、チェコ)

主な助成 / 受賞歴

- 2020 第13回岡山県新進美術育成「I氏賞」奨励賞
- 2018 「ヨゼフ・フラーフカ賞」(チェコ)
- 2017-18 「チェコ政府給付奨学金」
- 2017 「CAF 賞 2017」入選



「Circle in red」(2021) 駒込倉庫での展示風景
撮影: 森政俊 | 企画協力: 遠藤純一郎



Untitled - Hommage to H.D., J.H. | 2021
素材: 毛糸、絹糸、フェルト、古着、綿糸
制作協力: 安達七佳、遠藤純一郎
サイズ可変 | 撮影: 森政俊



Let's talk about mother and father (プロセスの一部) | 2018
ミクストメディア
インスタレーション (サイズ可変)、パフォーマンス



Let's talk about mother and father
(ほどいて糸を作るために使用したセーター)
2018 | ミクストメディア
インスタレーション (サイズ可変)、パフォーマンス

水上愛美 Emi Mizukami

1992 東京都生まれ
2017 多摩美術大学絵画学科油画専攻卒業

主な個展

- 2022 「So it goes」4649 (東京)
「Catharsis Bed」CADAN 有楽町 (東京)
- 2021 「Dear sentiment」トーキョーアーツアンドスペース本郷 (東京)
- 2020 「Paintings for stranger」トーキョーアーツアンドスペース本郷 (東京)
- 2016 「底流 /Large eddy」ワンダーサイト渋谷 (東京)
- 2015 「トーキョーワンダーウォール都庁 2015」水上愛美
東京都庁第一本庁舎 3 階南側空中歩廊 (東京)

主なグループ展

- 2022 「Heptapod Solresol Ruins」VOU/ 棒ギャラリー 1F (京都)
「COPE」no gallery (ニューヨーク)
- 2021 「憑依する作法」小金井アートスポットシャトー 2F (東京)
「エマージング・アーティスト展」銀座蔦屋書店 (東京)
「dawn」東急渋谷プラザ (東京)
- 2020 「4649 at Pina」Pina (ウィーン)
LOOP HOLE 15 周年記念展「チツチャイノ展」LOOP HOLE (東京)
- 2019 「CCIFTOFF COLLECTION vol.1」アートバードビル全フロア (東京)
「RED IRON RANZAN STUDIO SHOW」RANZANSTUDIO (埼玉)
「island」アートラボはしもと (神奈川)
「Super Open Studio 2019」RED IRON STUDIO (神奈川)
「Semi, セミ」MUSEUM OF TETSUO'S GARAGE (栃木)
「Feelings for a spider」4649 (東京)
- 2018 中村史子 キュレーション「野分、崇高、相模原」
アートラボはしもと (神奈川)
「What the f*** is happening in this Riv. 1」
(行く川の流りは絶えずして、しかしもとの水にあらず)
アキバタマビ 21 (東京)
「Super Open Studio 2018」RED IRON STUDIO (神奈川)
- 2017 「always good, always funny, always heavy, always casual」
LOOPHOLE (東京)
- 2015 「table cross」ターナーギャラリー (東京)



Labyrinths, threads, birds. | 2022 | キャンバスに
アクリル絵具、チャコールペンシル、
サンドペースト、砂漠の砂、リネン | 41x27.3cm



Any number of wishes is acceptable VI | 2022
キャンバスにアクリル絵具、チャコールペンシル、
サンドペースト、砂漠の砂、リネン | 116.7x80.3cm



“Catharsis Bed” by 4649 | 2022 | CADAN 有楽町での展示風景
撮影：坂本理 | Courtesy of 4649, CADAN 有楽町



Mansion of hapiness | 2021
パネルにアクリル絵具、チャコールペンシル、
サンドペースト、砂漠の砂 | 85x60cm

若林菜穂 Naho Wakabayashi

1991 東京都生まれ
2017 武蔵野美術大学造形学部油絵学科卒業

主な個展

2021 「Magic Flight」数寄和(東京)
2020 「wink」四谷未確認スタジオ(東京)
2018 「うつせる窓」小杉画廊(東京)
「行く先々」数寄和(東京)
2016 「予定のない日」sanka(東京)
2015 「fix the images」TANNE(東京)
2014 「メビウスの切れ目」lamp(東京)

主なグループ展

2021 「Kinder wonder garden」KATSUYA SUSUKI GALLERY(東京)
「Born New Art in SHIBUYA SCRAMBLE SQUARE」
渋谷スクランブルスクエア プラスアートギャラリー(東京)
2020 「第三十三回ホルベインスカラシッパ成果展」佐藤美術館(東京)
「心覚えをたどる」hatoba cafe/gallery(京都)
2018 「Slide,Flip, and Turn /スライドフリップ アンドターン-7人の
アーティストブック展-」武蔵野美術大学美術館図書館(東京)
「木曾ペインティングス vol.2」木曾路美術館(長野)
「清須市第9回はるひ絵画トリエンナーレ」(愛知)
2017 「木曾ペインティングス vol.1」本陣(長野)
「アタミアートウィーク」青い屋根の平屋(静岡)
「五美術大学連合卒業制作展」国立新美術館(東京)
「武蔵野美術大学卒業・修了制作展」武蔵野美術大学(東京)
2016 「sound of silence」武蔵野美術大学構内(東京)
「GAW 展 in 掛川」藤文(静岡)
「アタミアートウィーク」(静岡)
2015 「golde nage」武蔵野美術大学構内(東京)
2014 「table cross」ターナーギャラリー(東京)
「□□□」鎌水美術館(神奈川)
2013 「トリアグラム」武蔵野美術大学(東京)

主な受賞歴

2019 第三十三回ホルベインスカラシッパ 奨学生認定
2018 清須市第9回はるひ絵画トリエンナーレ 入選
2016 2016年度武蔵野美術大学卒業制作展 研究室賞



スターレーン | 2021 | キャンバスに油彩 | 80.6x100cm



マジックフライト | 2021 | キャンバスに油彩
116.7x91.3cm



行く先々 | 2018 | キャンバスに油彩 | 130.3x97cm



行く先々 | 2018 | キャンバスに油彩 | 91x72.7cm

—
本展覧会に関しまして貴誌・貴社にてご紹介いただけますと幸いです。掲載用写真の貸出、ご質問などございましたら、下記お問い合わせ先までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

[展覧会概要]

展覧会名	いつかは世の中の傘
アーティスト	神農理恵、日原聖子、水上愛美、若林菜穂
会期	2022年4月2日(土) - 5月1日(日) 11:00-19:00 定休日：月・火・祝日
会場	TALION GALLERY 東京都豊島区目白2-2-1 B1
企画	上田剛史 (TALION GALLERY ディレクター)

[注意事項]

ご来場の際には、以下の点についてご協力をお願いしております。
最新の情報はギャラリーWebサイト taliongallery.com にてご確認ください。

- ・展示室内の密集を避けるため、入場制限を行う場合がございます。
- ・発熱、せき等の症状がある方はご来場をお控えください。
- ・マスクの着用とカウンター設置の消毒液のご利用をお願いいたします。

[お問い合わせ]

TALION GALLERY 広報担当

Email: info@taliongallery.com Tel/Fax: 03-5927-9858

171-0037 東京都豊島区目白2-2-1 B1 URL: www.taliongallery.com